

1

超音波画像診断装置の基本的な構成

1 観察用モニタ

近年、LCD(液晶)タイプやOLED(有機EL)が増えています。

2 操作キーボード

各モード切替及び患者登録、計測等を行う際に操作します。

3 記録装置

白黒プリンタ、カラープリンタ、DVDなどの画像記録装置があります。
近年はDICOM転送が一般的になりつつあります。

4 プローブ(探触子)接続部

超音波を送受信するプローブを接続します。

5 電源ケーブル・LANケーブル接続部

背部には電源ケーブルやLANケーブル接続部があります。

6 USB接続

装置で使用が認められたUSB機器を接続します。

7 ECGケーブル接続部

心電図波形を取り込む心電図ケーブルや外部信号ケーブルを接続します。

8 本体(制御回路)

超音波信号の送受信をコントロールする制御回路を搭載します。



※ 3 4 5 6 7 は機種により設置位置が違いますのでユーザーマニュアルを参照ください。